

太陽光発電から再生可能エネルギーを学ぶ授業を実施しました！



太陽光の力で動く扇風機を見つめる児童
＝浜松市中区の鴨江小

太陽光発電の 仕組みを理解

鴨江小 環境考える授業

地元企業から再生可能エネルギーについて学ぶ授業がこのほど、浜松市中区の鴨江小で開かれた。プロパンガスや太陽光発電を取り扱う「エネジン」(同区)の社員15人が講師を務め、5年生が太陽光発電の仕組みを学んだ。環境について考える総合学習の一環。児童

は太陽光発電システムの組み立てに挑戦し、協力し合って専用架台に太陽光パネル4枚を取り付けた。同システムで発電された電気を使って実際に扇風機やフィットネス機器などを動かし、太陽光の力を体感した。

鈴木康太君(11)は「実際に製品が動くのを見てすごいと思った。将来活躍できる発電だと思う」と感想を話した。

エネルギー供給会社であるエネジンは、小学生に出前授業の一環で「太陽光授業」を実施しています。環境の変化がめまぐるしい中、エネルギーも時代と共に進化しています。未来を担う小学生に環境問題に興味を持ち、自ら考えて行動してもらえたらと思います。今後も地域に住む子ども達と一緒に未来を創造していきます。

令和2年(2020年)11月11日(水)

静岡新聞掲載